

広報

のほろへ

登別市民憲章

教育をつみ視野を広げて、平和で文化のかけ高いまちをつくりましょう。



植樹でさわやかな汗が

望洋公園の市民植樹祭

さわやかに晴れあがった五月三十日、ラフグリーン登別を合言葉に第四回登別市民植樹祭が行われました。柏木町五丁目の市民の森・望洋公園に集まったグリーンパトロール隊や家族連れなど、市民約三百五十人は午前十時から栗や梅、はたんきょう、さくらんぼなど五百本の苗木を手に、植樹作業に入り好天の下、快い汗を流しました。

6 1977 . 15

公住町 温泉中移転など予算補正へ

15日から第2回定例市議会

第二回定例市議会は、六月十五日から開会されますが、今回は報告四件、議案七件を提案します。

報告は、働く婦人の家の一部設計変更、政府系金融機関の誘致など。議案は、公営住宅（柏木町）若草小校舎増築、温泉中移転などの一般会計予算補正、産業廃棄物の処分についての条例改正、公平委員の選任などで、一般質問も出されます。

一般 一億七千三百万円追加

今回提出する案件のうち、主な内容についてお知らせします。

報告では、行政報告として働く婦人の家の一部設計変更と、政府系金融機関の誘致についてです。ほかの三件は、登別市土地開発公社に関する昭和五十一年度事業実績報告、同年度繰越明許費計算書の報告、専決処分（五十一年度一般会計補正予算）です。

次に議案ですが、昭和五十二年度の一般会計、上郷別東部地区土地地区画整理事業特別会計、水道事業会計の各会計補正予算案三件と登別市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正、公平委員会委員の選任について三件を提案し審議することになっています。

一般会計補正予算案は総額一億七千三百六十九万円の追加ですが中味は、議会費に九十万円、地熱開発基本計画策定費百万円、用地測量及び地質調査委託料五百万円など総務費に七百九十九万六千円、老人憩の家建設、保育所運営経費の民生費に七百四十万円、事業内職業訓練事業、働く婦人の家建設事業など労働費に二百三十三万六千円。

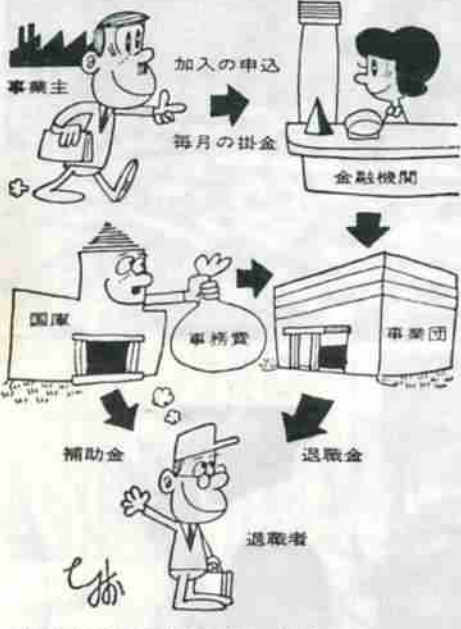
緊急租料増産総合対策事業など農林水産業費に七百三十五万円、公営住宅建設、道路改良など土木費に一億四千四百六十七万二千円、消防費に八十五万四千円、若草小校舎増築、青葉小グラウンド整備、登別大谷高校第二体育館建築補助、登別温泉中の敷地造成と校舎、体育館改築など増減差引として教育費には二百二十七万二千円のそれぞれ追加補正しようとするもので、これらの財源は、国庫支出金五千五百二十七万八千円、

従業員に退職金を

中小企業退職金共済制度

中小企業経営者のみなさん、従業員の長期確保に、国の中小企業退職金共済制度をご利用ください。

この制度は、市内の中小企業の事業主が従業員に、国からの一定の補助をうけ、大企業と同じような退職金を支払うことができる仕組みになっており、従業員の福祉の増進と雇用の安定のため、かな



制度に加入してから退職金が支払われるしくみ

①掛金は全額免税
毎日わずかの掛金で、将来多額の退職金が用意できます。そのうえ掛金は、法人の場合は損金、個人企業の場合は、必要経費として全額免税になります。軽減される額は、地方税までを含みます。事業主の実負担は、それだけ軽くなるわけです。

②退職金に国庫補助金がつく
退職金には国庫補助金がつき、さらに短期勤続者より長期勤続者により多額の退職金が支払われる仕組みになっていますので、従業員の定着を図るために役立ちます。また、事業団の人員費、事務費一切は国庫補助金でまかなわれていきますから、納められた掛金は、運用の利息を含めて全部退職金にあてられますので、いっそう有利になるわけです。

③融資がうけられます
この制度に加入している企業は従業員のための社宅、寮、更衣室、休養室などの福祉厚生施設をつくる場合、その資金を低利で融資が受けられます。

毎月の掛金は
掛金は、八百円から一万円まで十九種類あり、従業員個人ごとにきめることができます。掛金は全額事業主負担となっています。

申し込みは金融機関へ
この制度に加入できるのは、常用従業員が一人以上三百人以下（卸売業は百人、小売業・サービス業等の場合は五十人）の事業所に限ります。

事業主、役員はこの制度に加入できませんが、役員であっても、支店長や営業部長を兼ねているいわゆる、使用人兼務役員は、従業員と同様加入できます。

申し込みは、近くの金融機関に申し込んでください。申し込み用紙は、金融機関の窓口にならえてあります。

なお、この制度のくわしいことについては、市役所労働課労働係（電話②2111内線275）へお問い合わせください。

朝テニスを たのしもう

さわやかな朝、テニスを
楽しもう。登別軟式庭球協
会では、6月21日から9月
18日まで、毎週火・木曜日
に、朝6時から7時まで、
市民プール横の市営テニス
コートで、一般市民を対象
に、朝テニスをたのしむ会
をひらきます。

ご希望の方は、次により
お申し込みください。

- ◎参加料 一人三百円（ポ
ール代）
- ◎指導者 登別軟式庭球協
会員
- ◎申込先 登別市朝日町5
丁目11番1号 登別
軟式庭球協会事
務局（電話⑧
079）に電話
か郵送にて申し
込みください。
- ◎申込締切 昭和52年6
月20日

なお、参加者はテニスシ
ューズを着用し、運動ので
きる服装で、ラケットは各
自持参してください。



婦人と市長との初の対話集
会がさる五月十九日、中央公
民館で開かれました。この集
会では、登別市婦人団体連絡
協議会（会長宮城キエ）に加
入している各婦人会の代表約
五十人が出席、市長から街づ
くりの構想と重点課題につい
て説明があったあと、婦人間
題、医療、市民会館建設など
熱心な話し合いが行われまし
た。なかでも、懸案の眼科、
耳鼻咽喉科の誘致には、早い
時期に実現していく努力を約
束しました。

婦人と市長が交流深める

初の対話集会で熱心な話し合い

初の登婦連と田村市長との対話集

対話集会は、まず宮城キエ会長
から、婦人会活動に対する市の理
解ある施策と業績に、感謝の気持
をあらわすあいさつがあり、続いて
田村市長が約一時間におわたって
街づくりの構想と、女性の市政参
加を訴えたあと、質疑に入り婦人
の家、働く婦人の家建設、市民会
館、医療問題などに対して、活発
な意見、要望が出され、これに対
する市の考え方を、市長からくわ
しく説明がありました。

この中で、市の重点課題につい
て市長は、観光、産業経済、環境
福祉、教育など、市政全般にわた
ってふれ、住宅対策では公営住宅
を建てる場合、賃貸契約で土地を
確保する方法、さらにこの土地に
マンションを建て、低廉に市民に
提供したい。教育施設では、昭和
五十二、五十三年度に温中、富岸
小の移転を行ない、五十三、五十
四年度には西小本造校舎、登中屋
体にかかり、その後若草小と富
岸小の間に登別第二中学校を建設
したい。また教材、教具の整備や
保育所、幼稚園設置などのほか幼
児教育は競争なくして希望者全員
入れるようにしたいなど将来の考
え方にもふれました。

医療問題では、懸案の眼科、耳
鼻咽喉科誘致はどうなっているか
の質疑に対しては、専門医の数が
少ない、大学で専攻する医学生も
少なく、市の奨学金を利用する学
生も少ないなど、いろいろ困難も
あったが早い機会に眼科、耳鼻咽
喉科を配置した病院を誘致するよ
う積極的に努力中であると説明し
ました。

眼科・耳鼻科の誘致実現へ

市民会館建設は、市制施行十周
年記念事業として昭和五十五年
建築を目標に、三千人収容、五万
坪用地、十五億から二十億の事業
費を想定して、構想を立てている
が更に検討を重ねて計画をつつめ
たい。また、働く婦人の家は五百
人収容、公民館的な集会所で、
登別東町三丁目の国道36号線沿い
に本年度中に建設すると概要の説
明を行いました。

ほかに、婦人の家五カ所の建設
位置と管理方法、漁業二百弱問題
など身近な問題についても話し
合いました。

布し、本格的な運動体制に入りま
した。

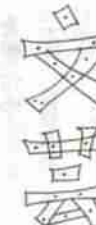
市民会館建設 募金運動はじまる

市民の手で市民会館を建設しよ
うと今年から一円募金運動に取
り組むことを決めていた、登別市
婦人団体連絡協議会は、五月十九
日に加入各婦人団体に募金袋を配
りました。

このほど配られた募金袋は、大
量一万二千枚で、募金方法は、登
婦連加盟十六単位に、募金委員
といった新ポストを設けており、
各班に募金袋を回して、買ひ物の
釣り銭などをカンパしてもらい、
三カ月毎に回収し、市内金融機関
に積み立て、昭和五十四年八月の
登婦連結成二十周年記念式典で市
に手渡されるということです。

短歌

松田 牧人
汗の衣を脱ぎ替えなおも夜学びへ
汝が後姿よ送り送る



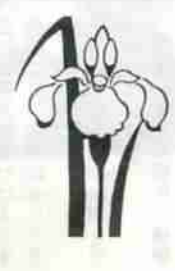
吉田 文枝
亡き夫の葬り終えて来し女の髪み
だれ居りうつむきがらに

中田 ミヨ
閉山の抗口近く今もなほこぶしの
花の咲き盛りなる

白井長流水
桜桃梨花いつとときに咲く蝦夷の春
待望久しく春はわが手に

袖下侍叙翁
ふたたびは語ることなしと思ひし

街をきれいに



道路・河川はみんなの財産
です。
みんなできれいに使いまし
よう。
そして住みよい環境づくり
は、まずわが家からはじめ
ましょう。

市長動静

- 5月16日/5月31日
- ▽16日 地区労との懇談会
- ▽17日 西胆振成人病予防
組合例月出納監
査、日本交通公社
協定旅館連盟北海
道支部連合会総会
出席
- ▽19日 婦人との対話集
会、登別飲食店協
同組合総会出席
- ▽22日 視別駐とん地創立
24周年記念式典出
席、身体障害者登
別支部定期総会出
席
- ▽25日 交通安全市民運動
推進委員会総会、
釧山町地区市政懇
談会出席
- ▽26日 北海道市公平委員
会連絡協議会総会
出席
- ▽28日 市民植樹祭登別市
中パレード参加
- ▽28日/31日 老人クラブ
特別列車一登別市
敬老号一同乗佐
渡へ旅行

さる5月17日から市民プール横のコートで開かれている婦人テニス教室に参加しています。学生時代にバレーボールをやっていたので、結婚して子供ができて、何かを続けたいと思っていました。2歳の男の子と一緒にですが、冬の軽スポーツ教室がたのしかったので、今度はテニスをすることにしました。最初はローラー引きやネット張り、そしてラン

テニス教室に参加して



ニングと準備体操だけでもう汗だく。でも終ったあとのとても社快な気分はすばらしい。子供連れてみんなに迷惑をかけると思いますが、主人の理解もあり、これからも続けていきますし、楽しいことですから仲間をふやしていきたいと思ひます。

常盤町一-40-1・畑中愛子・主婦

予防接種

●接種上の注意 ●母子健康手帳を持参●接種前日は入浴、当日は清潔な肌を着用●体温は必ず家で計って、●子供の健康状態の良好な時に接種すること●接種前後に激しい運動をさせない●できるだけ母親が付き添うこと。

●次に該当するときは、予防接種は受けられません。●発熱している人、または著しい栄養障害者●心臓、じん臓、肝臓の病気にかかっている人●アレルギー体質または副反応をおこしたことがある人●接種前一年以内にけいれんの症状をおこしたことがある人●種痘、BCG、はしか、ポリオの予防接種を受けて一か月を過ぎていない人●風しん、はしか、水ぼうそう、おたふくかぜが治って一か月を過ぎていない人

●対象児 ●三種混合＝第1期…生後24か月以上36か月未満、第2期…生後36か月以上48か月未満●破傷風＝3歳以上の希望者●ツベルクリン反応＝生後3か月以上48か月未満の未接種者●BCG＝生後3か月以上48か月未満の人でツベルクリン反応が陰性だった人●日本脳炎＝3歳以上15歳未満の希望者、ただし道外転出者および道外旅行者のみ対象

Table with columns for vaccine type (e.g., BCG, Polio, Measles), age group, and date of vaccination.

市では、市内の中小企業の経営安定をはかるため、低金利の融資制度のご利用をおすすめしています。●融資対象 ●市内に事業所がある方 ●貸付条件 ●貸付限度額 ●運転資金二百万円以内、設備資金五百万円以内(団体は運転資金のみ五百万円以内) ●貸付期間 ●運転資金二年以内、設備資金三年以内 ●貸付利率 ●一年以上一年七・五割以内、一年以上八年・五割以内、保証協会扱分年八・五割以内

低利の融資をどうぞ

中小企業者へご案内

内。担保・保証人担保および保証人については、取扱金融機関の定めるところによる。●申込先と照会先 市観光商工課商工振興係(電話⑤21111内線273)

はかりの定期検査

検査日程表

Table with columns for date, time, location, and inspection area.

北海道計量検定所では、小型はかり(2t以下)の定期検査を、次の日程により実施します。販売等の取引をお持ちの方は、必ず受検されるよう、お知らせします。くわしいことは、市観光商工課消費経済係(電話⑤21111内線216)におたずねください。



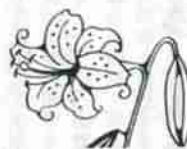
Table showing cemetery plot specifications and costs for different grades (3rd, 4th, 5th).

富浦墓地の使用申込を受付中

ただ今、富浦墓地の使用申込を受付中です。ご希望の方は、市保健衛生課または支所へお申し込みください。使用料金などは、次表のとおりです。

股関節脱臼検査

対象児…生後3ヵ月以上1年未満の乳児、実施月日…7月8日、実施場所…中央公民館、実施時間…午前10時30分～11時、午後13時～14時、受付定員…午前25名、午後25名、受診料金…670円、用意するもの…母子健康手帳・換えおむつ、申込先…市保健衛生課(電話⑤2111内線244) ※申込受付は定員になり次第締め切らせていただきます。



ご寄贈ありがとうございます

〈惠寿園〉へ ●物品寄贈 清水賢次様、星喬様、第一滝本館様、佐藤繁様、木村六三郎様、中島ヨシ様、志賀総合食料品店様 <社会福祉協議会(愛情銀行)>へ ●現金寄贈 坂本とし子様 ●物品寄贈 小栗源七様、田中了治様、福井ガラス店様、匿名二件 ●古切手寄贈 富士地区婦人ボランティアクラブ様、絵内陽子様、国立登別病院患者一同様、室蘭警察署様 小林政一様、松緑神道大和山様、西脇敏夫様、貴正孝市様、登別市職員労働組合様、平田友治様、木村ノブ子様、田崎ふさ子様

文化短信

市長杯争奪 第2回登別市川柳大会

日時 昭和52年7月24日(日)午前10時30分から午後3時30分まで。会場 登別市中央公民館2階。講演「川柳のたのしみ」砂川川柳社主幹、本山哲朗氏による川柳のたのしみや、作り方を中心の話。宿題「(謎) 細虹見遊、「宝物」佐藤退夢選、「針」加納美舟選、※各題とも二句ずつ作り、題を明記して、「はがき」で投句のこと。なお準備の都合がありますので、大会当日の出席の有無を余白に書き添えてください。宿題投句締め切り 7月5日着便で締め切る。投句先 (〒059104) 登別市登別本町2の45 細虹見方登別市民川柳大会事務局 席題選者 本山哲朗、志水点滴、加納愛山 賞 総合10位。その他 宿題投句料無料。当日の大会参加費500円。(昼食、発表誌代を含む) なおくわしいことは、教育委員会社会教育課または大会事務局にお問い合わせください。 ※広く一般市民の参加を呼びかけています。主催 登別川柳社 後援 登別市教育委員会、登別市文化協会